

太子高校の挑戦 その4

アクティブ・ラーニングの「研究授業研修会」

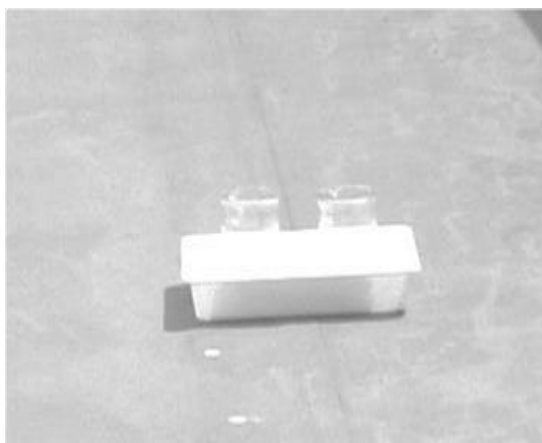
本年度は、太子高校の「挑戦の年」と位置づけて「学力向上」「授業改善」に取り組んでいます。この通信で本校の取組みについてお話することで、太子高校の挑戦について知っていただければと考えています。

6月25日（木）に、アクティブ・ラーニングの研究授業についての職員研修会を行いました。期末考査を目前に控え、それぞれに忙しい時期なので30分限定でした。研究授業を行った教師4名から、自分の授業のねらいや工夫について述べた後、全員がグループに分かれて話し合いを持ちました。リーダーシップを取ってくださった先生が、「では、グループ毎に話し合ってください」とおっしゃった瞬間、ワッと話し合いの音が会議室内で一斉に起こりました。

私も、あちこちでグループワークの形式を取り入れた研修会に参加しますが、小さい声で話し合っていたり、グループになってもなかなか意見が出なかったりという場面を目にすることもあります。ひどいときには、全く違う雑談になっていたり……。そういうことが全くありませんでした。さすがに太子高校の先生方だと、感じ入りました。まさに、「アクティブ・ラーニング」の研修会でした。

話し合いの中身を深く掘り下げるには時間不足でしたが、お互いの考えを交換する良い機会だったと思います。内容や考えを深めるための機会としては、7月6日（月）に行われるアクティブ・ラーニングの研修会があります。今、教育現場では一番旬の話題と内容の研修会ですから、校外からの参加希望もたくさんいただいています。きっと、実りある研修会になることでしょう。先生方と一緒に研修したいと、今からワクワクしています。

ONE SHOT



写真では少しわかりにくいかもしれませんが、ピーカーが2個、受け皿の中に入っています。理科の授業で酸性雨を調べるために、置かれていたものです。場所は、1棟と2棟を繋ぐ渡り廊下の屋根の上です。雨水を集めて酸性度を測ろうとしたのですが、この後まとまった雨が降ったので、集めた雨水の濃度が薄まってしまって、正確な計測ができなかったそうです。残念！科学（者）の宿命ですね。

担当者曰く「予測よりも薄い濃度になっているのはなぜか。原因を科学的に追求することができます。科学に失敗の文字はありません。」

学校のカ・イ・ダ・ン

本校の正門の前は西向きの直線道路です。生活道路との交差点は、見通しが悪く危険です。そこに、毎朝、近所のNさんが交通指導のベストを着用して立ってくださいます。どんなお天気の日でも。おかげさまで、生徒は安心して交差点を通行することができます。学校は、こうした地域の応援団に支えられています。ほんとうにありがとうございます